



2016～2017年度国際ロータリー会長ジョン・ジャーム

**会報**  
Weekly Report

【例会場】 フォレスト・イン昭和館 TEL:042-542-5555  
例会日 毎週木曜日 開会点鐘 12時30分～  
【事務局】 〒196-0014 東京都昭島市田中町562-8 昭和第1ビル202-B  
TEL 042-543-8975 FAX 042-541-1117  
ホームページ http://www.akishima-rc.org  
E-mail akishima-rc@hkg.odn.ne.jp

**会長方針 「信頼」と「誇り」と「連帯感」**

第2369回 例会報告 2016年7月28日発行 VOL.49-03  
2016年7月21日(木)例会

○司会 国際奉仕チーム  
阿島 征夫 チームリーダー



【開会点鐘】12時30分 安保 満 会長



【斉唱】  
ロータリーソング「それでこそロータリー」  
ソングリーダー 寺嶋 功 会員

**来訪者紹介**

卓話講師  
NPO法人 アジア失明予防の会 サポータードクター  
京王八王子松本眼科 副院長 栗原久美子様  
昭島市長 北川 穰一様

**来訪者挨拶**



※昭島市長 北川 穰一様  
7月になって「社会を明るくする運動」の強調月間として種々の啓蒙活動が行われています。皆様には特段のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

8月には第44回「くじら祭」が行われますが、当初より開催について物心両面にわたってのご尽力を頂いております。

これから益々暑さ厳しくなろうかと思いますが、ご健勝の中でロータリークラブの活動、皆さまそれぞれのご事業の発展のためにご活躍されることを心から祈念させて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

**目録贈呈**

※NPO法人 アジア失明予防の会 サポータードクター 栗原久美子 様

**※安保 満会長**

栗原先生は月が変わりますとラオスに行って、患者さんを診たり、ラオスのお医者さんのご指導をされるという事で、この機会に目録をお渡しします。左より 安保会長、栗原久美子様 実際のお金は補助金が振り



左より 安保会長、栗原久美子様 相田幹事

込まれます10月頃になると思いますが、お納め下さい。

**会務報告**

安保 満 会長



1. 現在為替が円安に動いています。7月のロータリーレートは102円になっておりますが、市場では現在106円でロータリーレートも今後105円、106円も考えられますので、ロータリー財団への寄付は7月中に実行する事に致しました。皆さまもロータリー財団への寄付をお考えの方は、7月中にお願いできれば為替のメリットが得られると思います。
2. 7月14日(木)17時より「車屋」において昭和の森芸術文化振興会の事務局会議が開催されました。期変わりとなり鈴木一昭会長エレクトへの引継と云うことで二人で出席して参りました。
3. 今日卓話を頂く栗原先生は、クラブが行っている国際奉仕プロジェクト3件がありますが、その中のラオスの医療支援プロジェクト活動の役割をお願いしております。プロジェクトは地区補助金5,000ドルとクラブ拠出金1,000ドルの6,000ドルの予算で実行します。

**幹事報告**

相田 禎延 幹事



1. 事務局移転とアドレス変更の案内 東京立川こぶしRC
2. 7月14日(木)例会終了後、ハイアットリージェンシー東京で開催の「第1回クラブ米山記念奨学委員長セミナー」に出席して参りました。内容は米山奨学生について、奨学金の歴史などと、奨学生の皆さんは志が高く大変勉強になるスピーチを聞きました。

**チーム報告**

**○親睦活動出席チーム**

※出席報告

森島 徳幸 委員



会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席
47名	4名	43名	34名
事前メイクアップ		本日の出席率	
2名		78.26%	
事前メイク		井上会員、 小山(満)会員	

**○国際奉仕チーム**

※会議報告 小池 満也 チームリーダー  
先週、奉仕チームのこれからの活動について協議をしました。



基本はクロスカルチャーコミュニケーションを前提にして海外の方を含めて、いろんなところにいる関連する人とコミュニケーションを取っていこうをベースに打合せをさせて頂いております。

カンボジア教育育成はクラブより100,000円程度の予算は取らせていただきました。カンボジア児童支援も同じ程度の予算ですが、小山年度、大野年度に引き続き今年度の3年間、しっかり支援をさせて頂くことで確認しております。

7月24日(日)に平和フェローシップ関係のバングラデシュのモインフディンさんが羽田に到着されます。ICUの寮までお送りすることが今週の仕事としてあります。

9月15日(木)、RACとの関連も含めて墓参例会があります。この時は皆様にご協力いただく事になります。ただ、勝野先生が亡くなられて、谷口さんが退会されてしまい、どうしようと考え、来週の理事会で協議させて頂いて決めていこうと思っています。米山は孔陽丹さんがしっかり役割を果たして頂いております。くじら祭りにも参加を勧めております。



## ○社会奉仕・職業奉仕チーム

※“くじら祭”について

木野 常男 チームリーダー

来週の例会で概要説明とミーティングを行います。本日本報に資料を配付させていただきます。お目通し下さい。

## ○親睦活動出席チーム

※納涼屋形船例会の案内

柳 賢司 チームリーダー

日時 8月25日(木)

集合 昭和館17時

登録料 7,000円 (7月28日より集金)

ご案内はFAXでさせて頂きましたが、19時に乗船して、150分間21時30分まで食事と懇親会となります。昭和館到着は23時頃を予定しています。

又、親睦活動出席チーム予算より150,000円を支出させて頂きました。参加者30名を切ってしまいますと採算割れとなります。皆様にご参加をお願い致します。



## ○親睦活動出席チーム

※ニコニコボックス発表

荒巻 正康 委員

安保会長 栗原先生のご来訪を歓迎致します。ラオスプロジェクトの成功を共に作り上げられるよう昭島RCとして支援させて頂きます。

相田幹事 NPO法人「アジア失明予防の会」栗原久美子様。ご来訪ありがとうございます。

鈴木(一)会員 栗原さんのご来訪を祝して。

菊池会員 栗原先生、本日の卓話よろしくお祈りします。楽しみにしております。

坡山会員 栗原先生、本日は卓話宜しくお祈り致します。今日は“先生”と呼ばせて頂きます。

三田会員 栗原先生のご来訪を歓迎して。本日の卓話よろしくお祈りします。

荒巻会員 栗原先生のご来訪を歓迎致します。

本日の合計 46,000円  
累計 269,000円  
予算達成まで 2,231,000円



務先の院長の理解もあり、主にゴールデンウィークと夏休み、秋の大型連休を利用して、1年に2~3回単身で支援を継続していますが、NPOからの交通費、滞在費の支給は残念ながらありません。

ラオスの正式名は、ラオス人民民主共和国で首都はビエンチャンです。日本からの直行便はありません。ベトナム或いはタイを経由することになりますが、地方への便は毎日ありませんし、閑散期には突然フライトキャンセルが発生したりします。インドシナ半島にあるラオスは、中国、ミャンマー、タイ、カンボジア、ベトナムの5過去と国境を接する内陸国で、国土は24万km<sup>2</sup>で約八割が山岳地です。50以上の民族からなる多民族国家でもあります。人口は約660万人、千葉県とほぼ同数の人口ですが、隣国のタイの人口6600万人、ベトナム8400万人と比べるとかなり少ない人口になります。GDP一人当たり1600米ドルと世界平均の15%以下ね一日2ドル未満で暮らす貧困層は60%を超えます。主な産業は農業で人口の約八割が従事し、米や農作物を作って自給自足の生活をしています。GDPは低い国ですが、食料は抱負で飢餓や物乞いが少ない貧しい国の豊かさがあり国民性も非常に穏やかです。空港や橋・道路など日本のODAの支援も多く、親日の国で、昨年は日本ラオス国交樹立60周年を迎えました。ラオスの人口はピラミッドですが、典型的な釣り鐘型で今後の人口増加が予測されます。日本と比較した場合の医療情勢ですが、人口1000人当たりの医師数は、0.182人で日本の1/10以下です。大体5000人に対して一人の医師しかおりません。人口一人当たりの公的医療費はラオス21ドルに対して、日本は3290ドル、GDPに対する総医療費は2.9%、9.3%で大体日本の1/3になっています。医師数、病床数を近隣の国と比較してものですが、医師数はミャンマー、カンボジアより少なく、病床数の少なくなっています。

眼科医療の現状は、医師数1160人中、手術が出来る眼科医(日本で云う眼科専門医)は20人しかいません。首都であるビエンチャンに保健省管轄の眼科センターがあり、事実上センターの院長がラオス国内に於ける眼科医療のトップとなります。院長他3名が常勤しており、通常的眼科医療業務に加えて私たちも含めた海外からの支援や援助の窓口になっています。常時数名の研修医も勤務していますが、主に外来業務を行いながら手術医療を取得しています。また、医学大学や看護学校学生の教育等も行っています。

北部、中部、南部の三地域に区分され、北部は山岳地域に山岳が点在している地形のため人口密度は低くなりますが、中国との国境を有する地域で中国色の濃い街もあり、中国人の流入が多い地域となっています。中でもルアンパバンは1353年から約200年にわたりランサン王国で栄えた町でユネスコの世界遺産として登録されている最大の都市です。ホテルやレストラン業をはじめとした観光産業が発展し多くの外国人観光客で賑わうラオス国内でも屈指の観光地です。中部は首都ビエンチャンがあります。南部はメコン川沿いの比較的広い平野が広がり、タイとベトナムを結ぶ東西経済回路を有しています。中でもサワンナケート県はビエンチャンに次いで2番目に人口の多い地域ですが、大半が山岳であり交通網が乏しく都市部と地方部の収入格差が大きい地域でもあります。

眼科医が少ないため各地方に一つの眼科センターを配置するのが限界です。

※この後、白内障について、ラオスの超音波白内障手術について、今後の眼科医療についてなど、プロジェクター使用によりお話し頂きました。

※謝辞・記念品贈呈

左より 安保会長、栗原久美子様  
相田幹事



## 卓 話

※卓話講師紹介 安保 満 会長

<栗原久美子先生のプロフィール>

平成7年3月 杏林大学医学部卒業

平成18年4月 NPO法人アジア失明予防の会  
サポータードクター

現在 医療法人社団京王八王子松本眼科  
副院長を務める



※テーマ「ラオス医療支援」

NPO法人 アジア失明予防の会

サポータードクター 栗原久美子 様



本日配布したパンフレットはラオスとは関係のないことですが、皆さまの目の悩みどころが分かるものとなっています。

アジア失明予防の会は2003年10月1日にアジアの貧しい国々の人々が一人でも光をなくさないで済むように服部匡志医師が設立したNPO団体で主にベトナムで活動を行っています。杏林大学眼科医局に在籍中、出向先の病院で服部氏と仕事をしたのが経緯となり、私は2006年から活動に参加しております。当初はベトナムの地方で行われてい

ました無償白内障手術に同行していましたが、ラオスの眼科医から超音波白内障手術の立ち上げ、技術指導の依頼を受け2007年からラオスの眼科医療に携わっています。現在の勤

閉会点鐘

安保 満 会長

第2371回 8月6日(土)・8月7日(日)

第44回“昭島市民くじら祭”

会場 昭和公園陸上競技場